



4月からは新しく何かを始めるといふ方も多いと思います。そこで今回は、充実した日々を過ごすための本を紹介します。まず、紹介するのは「スッキリ朝とゆったり夜」。日々の雑事に追われて丁寧に生活していくというのは難しいものです。ですが、ほんの少しの工夫で充実した日を過ごせる、そんな工夫や提案が詰まった本です。同じシリーズの本で「明日はお休み。」もあります。こちらは、有意義な休日を提案する本です。ぜひ、最初に紹介した本とあわせて読んでほしいと思います。

次に紹介するのは「フランス人は10着しか服を持たない」です。本屋でも平積みになったりと話題になった本ですが、こちらの本は著者がホームステイした際に学んだ毎日を“特別な日”のように生きるということを綴ったものです。日本での暮らしとはまた違った部分が多くあるのですが、心にゆとりを持ちながら生活していきたいと考えている方にはおすすめの本です。

この他にも、暮らしについて書いてある本はたくさん揃っています。図書館に立ち寄った際は、ぜひ紹介した本を手にとってみてください。

## 新刊図書

### 《一般書》

また、桜の国で	須賀 しのぶ
静かな雨	宮下 奈都
湯を沸かすほどの熱い愛	中野 量太
幻庵 上・下	百田 尚樹
夜行	森見 登美彦
走狗	伊東 潤
ダッハウの仕立て師	メアリー・チェンバレン
ショコラ	ジェラルド・ノワリエル
実家&家族の大問題	日経BP社
屋根をかける人	門井 慶喜

### 《児童書》

おなかのかわ	村山 知義
とんねるをぬけると	片山 健
ペンぎんたいそう	齋藤 楨
おいしそうなしろくま	柴田 ケイコ
オニのサラリーマン	大島 妙子
おたのしみじどうはんばいき	宮下 和代
ココとリトル・ブラック・ドレス	
アンナマリー・ファン・ハーリング	

## 新刊図書おすすめ!!

『よるのばけもの』

住野 よる



夜になると、僕は化け物になる。ある日、化け物になった僕は、忘れ物をとりに夜の学校へと忍びこんだ。誰もいないと思っていた教室に、なぜかクラスメイトの矢野さつきがいて…。ベストセラー作家、住野よる待望の最新作!

『なつみはなんにでもなれる』

ヨシタケシンスケ



なつみはね、すごくいいことおもいついたよ。なつみがなにかのマネをして、それをおかあさんがあてるゲームだよ! コレ、なーんだ!?

## 家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できるようになっています。また、他市町村にある図書も検索できます。沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。

<http://blog.canpan.info/numakyoui/>